

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標を掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ず暫定的な措置として、ベット柵やベルト着用などをする場合においても、絶えず身体拘束をしないケアという方針を意識・確認できる機会の確保を期待したい。	不必要な身体拘束は行わず、常に利用者の状態を観察しながら、必要性について検討していく。	現在、やむを得ず身体拘束を行っている利用者さんがいる。利用者の状態変化によって必要性がなくなるケースや援助方法、環境対応で身体拘束をする必要がなくなることもあるので、利用者の状態観察を行うと共に、ご家族への説明や意見を取り入れながら、身体拘束することが当たり前にならないように職員同士意識しながら取り組んでいく。	3ヶ月
2					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。